

週報

国際ロータリー・テーマ

夢をかたちに



夢をかたちに



Vol.42 第2081回例会

2009.6.18

今年度会長テーマ

(あい)に感謝 そして 実践しよう
ロータリーの志魂(こころ)

■司会：
熊木例会運営委員



■点鐘：町田会長

■合唱：ロータリーソング
「日も風も星も」



◆ソングリーダー：
野澤会員

■お客様紹介：當麻パスト会長



◆ゲスト：東大和RC
安部正男様



◆ゲスト：武蔵村山RC
峯岸一郎様



会長報告

町田会長

東村山の食文化について
東村山の久米川町、廻田町、野口町、やけべといわれる多摩湖町などには、昔から「うどん作り」の伝統があります。冠婚、葬祭などをはじめ色々な「人寄せ」の機会には食事の最後の仕上げに「しのぎ」と言って、うどんが出されたそうです。そして食べる際、「かて」と呼ばれる地元で取れる季節の野菜、夏ならば茄子、インゲン、冬ならばほうれん草や白菜、大根の切干を茹でたもの、中でも大根の千切りはこれがまた、大根の甘みが出て大変に美味しい、これらをうどんと一緒に食べるのが「かて」と言われています。広辞苑では「かて」について調べたところ、漢字では食糧の糧で、音読みで、りょう、ろう、訓読みで「かて」とあります。意味は食糧、食べ物。そして活動のもとになるもの。心の元になるもの、とあります。よく心のかてと言いますが、昔の人はよく考えた言葉を言ったと思います。小生1944年の生まれですから満65歳になります。この65年の生き様において、小生の心のかてはいかなるものか考えたところ、自分が65年間常に初めて体験する問題、障害等これらの苦難を幾度も苦悩しながら乗り越えてきたことであるとあります。そして、その時の経験がまた自分をその都度支えてくれた家族、特に頭の上がらぬ愛すべき賢妻と友人達、そして良きアドバイスを頂いた会員の皆様の友情が最高の「かて」であると思いません。

私の趣味はゴルフと読書です。自分自身は77歳までゴルフをしようという目標があります。その為には運動しなければいけないと思い、ロンドに行って、色々な器具を使用しての体作りも良いなと考えているし、又、簡単なエクササイズ、ウォーキングも良いのではないかと思案していますが、それよりも私にはゴルフの運動量が丁度いい。ことわざに好きこそ物の上手なれ(好きは上手のもと。道は好む所によって易

■例会日／毎週木曜日 12:30～13:30

■例会場／八坂神社 社務所

〒189-0013 東京都東村山市栄町3-35-1

■クラブ管理委員会／高橋 眞 田中 重義

■事務所／〒189-0013

東京都東村山市栄町3-5-1ハイツむさしの101
TEL 042-393-7500

し)とありますがゴルフだけはこのことわざは、私には当てはまっていないとつくづく思います。下手の横好きですね。まだまだ人間として悩ます欲望が強く、スコアは相変わらずお寺の鐘で(4×9=36、8×9=72)の108前後です。

最近健康そのものがブームのようですが、健康の為の健康を求めているように感じられますが、何の為に健康が必要かといえば、己自身のこれからの人生を楽しく充実させるためであると思います。体力、年齢に合ったことがしたいものですね。健康体を求めるあまりに、意に反して体を壊す人がいます。なにもいう、私自身が足腰を鍛えようとウォーキングをはじめ、3ヶ月後に膝を壊してしまいました。一時4日に1度膝の水を抜くなどして、現在は不安を抱えながら歩いているのが実情です。どうか皆様も気をつけて下さい。

■幹事報告

相羽幹事

■青少年交換委員会：

裏千家今日庵茶道稽古のお知らせについて

7月18日(土) 15:00集合

7月25日(土) 15:00集合

■ガバナー事務所：

ロータリー財団地域セミナー(7/2)プログラムの受理

■世界社会奉仕委員会：

次年度世界社会奉仕委員会からの連絡先について(依頼)

委員会の案内、担当委員長の確認

→「国際奉仕 当麻誠委員長」報告します。

■国際ロータリー日本事務局：

・マルチプル・ポール・ハリス・フェロー ピンの受理
当間 眞 会員(マルチ1回目)

・ポール・ハリス・フェロー ピンの受理
秋山 佳雄 会員

■回覧：「友」インターネット速報 No.385

ハイライトよねやま 112

■例会変更：

東京板橋セントラルRC 7月31日(金)→夜間例会



■出席報告

土田例会運営委員

在籍会員数	出席	免除	欠席	出席率
39	33	1	5	85.71

■前々回メイクアップ修正後前々会欠席：2名

■前々回出席率メイクアップ修正後：92.86%

■前々会メイクアップ者：

北久保会員：所沢西RC

熊木会員：所沢西RC

石山会員：所沢中央RC



■ニコニコBOX 野村クラブ管理委員

◆皆出席：

中丸会員(8回目)



◆当麻会員：安部様、峯岸

様ようこそいらしゃいました。

◆安部様：お世話になります。

◆樺澤会員：町田会長さん

相羽幹事さん、一年間ありがとうございました。バーミンガム楽しんで元気で帰ってきます。

◆峯岸様：いつもお世話になります。

◆当間会員：クラブ管理委員会の皆さんご苦労さまです。

◆秋山会員：四大奉仕の皆様、今日よろしくお願ひします。写真ありがとうございます。

◆竹田、中丸、山本会員：

峯岸さんようこそ。お待ちしております。近々夜のロータリー活動もよろしくお願ひします。

◆土方、当間、相羽、木下、竹田、秋山、田中、漆原、金子、北久保会員：

写真ありがとうございます。



本日のニコニコ合計： 27,500円
累計： 1,633,364円

■委員長報告

■土方パスト会長



◆マルチプル・ポール・ハリス・フェロー受理 当間会員

◆ポール・ハリス・フェロー受理 秋山会員



■クラブ協議会(一年を顧みて)

■秋山クラブ奉仕委員長



本年度はガバナー公式訪問に始まり、緊張のなかに胎動したのではないのでしょうか。目時ガバナー補佐を送り、IMと矢継ぎ早に大きな行事をこなし、前期は大変忙しい町田会長ではなかったでしょうか。なかでも多数の退会者がありました為に、例会運営当間委員長、高橋クラブ管理委員長、大変ご苦労された事と思います。一昨日、両委員の顔合わせがございまして、会報の事が話題になりました。テープ起しの件でございしますが、壇上に上がる皆様、原稿にご協力を下さいます様に、テープを何回も何回も聞きながら文章に起し、苦勞すると達成感を味わうとも云われますが、貴重な時間でございます、お願いを致します。会員研修につきましては當麻副委員長、樺澤、野澤会員により30分延長しての勉強会楽しく聞かせて頂きました。会員増強につきましては、永遠のテーマではございませんか。プログラム委員会におきましては、卓話をして頂き記憶に残りました一部を紹介させていただきます。

米山奨学生の鄭企娟さん、韓国の女性でテーマは「人のために生きる」私も前白血病(骨髄異型性症候群)と診断され大変ご苦労なされた由、人に助けられて、人の大切さ、生きることの大切さを感じまして、日本に来て本当の夢を与えてくれた国、大事なことを判らせてくれた国、「大好きになった日本」あの白血病を完治された方でございます。先輩の嶋田会員との熱い握手、また大好きな詩を紹介しております。

魅力的な唇がほしいのなら、
優しい言葉を口にきなさい。
かわいらしい目がほしいのなら、
人々の良いところをみなさい。
美しい体がほしいのなら、
あなたの食べ物を、貧しい人々に分け合いなさい。
綺麗な髪がほしいのなら、
一日一回子供の手で触れさせる様にきなさい。
美しい姿勢がほしいのなら、
あなたが決して一人で歩いていないことを覚えなさい。
一躍ローマの休日でスターになりました、オードリー・ヘップバーンが死ぬ一年前に、自分の息子に聞かせた「詩」のことでございます。
真に死と直面し格闘し、命の尊さを実践した彼女は、「私が人の為に出来ることは、多分、貧しい国の子供達に、教育と夢と希望を与えることではないか」と、言っておられます。日本に來られて8年が過ぎ、日本・韓国との大きな橋が掛けられればと思ってしまう私です。これこそがロータリアンが目指す心ではないのでしょうか。

卓話をして頂きました多くの方々に感謝をし、企画されました中丸委員長ありがとうございました。以上で報告に代えさせていただきます。

■當麻職業奉仕委員長



事業計画は

1. 職業奉仕月間に因んで職場見学を東電・神無川発電所、柏崎・刈羽原発の見学をしました。非常に有意義な職場見学となりました。また、親睦旅行も兼ね楽しい旅行となりました。
2. 会員研修委員会と連携を取り、拡大例会を含め職業奉仕について勉強会を開催しました。

■漆原社会奉仕委員長



◆活動方針

地域に密着し、地域の活性化となるような社会奉仕活動、そして会員が汗を流し活動し、楽しく語れるような活動を目指す。また、遂行した事業について正しい後方が出来るよう努力する。

◆事業計画

1. 地域の事業、イベント等は積極的に参加する。
2. 地場産業を紹介できるような事業を計画する。

まず、地域の事業、イベント参加としまして、市の産業祭への出店をしました。多くの会員の皆様または事務局のお手伝いを頂き、フランクフルト、ごぼう、玉葱の販売を実施し、一生懸命汗を流し、楽しい出店だったと思います。

利益はあまり多くありませんでしたが、二日間お手伝いを頂いた交通少年団、消防少年団への活動資金の一部に出来たことに感謝いたします。また、二日間の販促用にと、手作りの「竹とんぼ」をたくさん奉仕頂いた野崎会員にも感謝申し上げます。ありがとうございました。

そして地場産業の紹介と言う事で、敬老の日には施設に入所されている高齢者の方々に、会員の打った東村山ロータリーうどんを食べてもらおうと計画しましたが、私の行動が遅かった為、時間がなく、実行できませんでした。

町田会長より、社会奉仕委員会の命を受けてから何とか事業を成功させて、東村山ロータリーの名前が広報されればと思っておりましたが、計画だけ絡まってしまいました。

この一年間は社会奉仕活動があまり出来なかったように思い、反省しております。また、会員の皆様にはご指導とご協力を頂きました事を感謝申し上げます。ありがとうございました。

■木下国際奉仕委員長



◆今年度を振り返っての報告

今年度の国際奉仕と申しますと当クラブでは国際奉仕委員会地区では国際奉仕室と申しまして国際奉仕室の中には青少年交換委員会、地区世界社会奉仕委員会、地区オン・ツー・バーミンガム委員会、対人地雷の除去に関する特別委員会、と四つ委員会がありまして、当クラブから青少年交換委員会委員長の野澤秀夫さんが活躍されておられますので、後で報告をお願いしてあります。また、対人地雷の除去に関する特別委員会には神崎武さんが常任委員として活躍されています。神崎さんにも報告をお願いしています。また、2010年2月5日のロータリークリアランド・カンボジア完遂記念式典に多くの方の参加の依頼があると思います。

◆オン・ツー・バーミンガム委員会

国際大会100回記念の参加を多くの方にお願ひし、多摩分区の各クラブにもお願ひいたしましたが残念で本当に申し訳ありません。どうしても健康状態の都合で不参加とさせて頂きました。また、私の後に榊澤さんに国際奉仕委員会オン・ツー・バーミンガム小委員会委員長をお願いを致しました。楽しく、思い出の多い国際大会の旅を願っております。これで報告とさせて頂きます。

■神崎対人地雷の除去に関する特別委員会常任委員



完遂記念式典

ロータリークリアランド第1号～10号の完遂と顕彰碑除幕式

◆日時：2010年2月5日(金)

午前：地雷除去デモンストレーション

午後：記念式典

夕刻：晩餐会

◆会場：カンボジア王国・シミアアップ市

◆ホテル：ル・メリディアン アンコール パームガーデン

◆晩餐会と懇親会

現地視察に参加したロータリアンと、ヘイロラスト関係者との親睦と感謝の簡素な夕食会を開き、クリアランド10年の苦勞とその成果を共有できる会とする。

◆登録費

ロータリアン：1人150USドル

ヘイロ関係者他招待者は無料。会食に要する参加費は参加者の負担額で賄うこととする。

■野澤国際奉仕室 青少年交換委員長



青少年育成4つのプログラム

1. インターアクトクラブ・・・激減

発足 1962年 世界各地に広がる

対象 14才～18才

高校生(主として高校におかれている)

日本では1963年、宮城県仙台育英高校

2. ローターアクトクラブ・・・激減、在京60クラブ(71クラブ)10にも満たない

発足 1968年

対象 18才～30才 大学生～社会人

奉仕を指向する市民及び指導者の育成

日本では1968年、埼玉県国際商科大学

3. 青少年交換

発足 1974年

対象 15才～19才の高校生

当初は米国とオーストラリアが圧倒的。国際親善大使。1年間の留学。

4. R Y L A (ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワーズ)

ロータリー青少年指導者養成プログラムの頭文字

発足 1971年

対象 14才～18才、19才～30才

二分化されているのは、多様なニーズと成長過程に対応するため。若者の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばし育てることを目的としたプログラム。実践活動としてはセミナーか指導者キャンプ。日本では1976年、当時の366地区(大阪・和歌山)(現2640地区)

2005～06会長、カール・ヴィルヘルム・ステンハマー
→全世界の高校生が青少年交換プログラムに参加することが出来れば、やがて世界中の紛争や戦争はなくなるでしょう。

2005全日本R Y L A研修の基調講演

20年程前、マレーシアの首相は「Look East」東方に学べ。東には日本がある。日本を見習おう。日本は原子爆弾、敗戦のどん底、戦後30年で経済大国に。マレーシアは学校教育に力。先生を優遇。建国の基礎に教育を置いた。

ところが20年前より「Not for the East」日本の真似はするな。日本の戦後教育は道徳や倫理を教えない「知育」優先。「徳育」を忘れた。小学校の頃より人間教育の基礎を教える。それを教育する先生は大臣と同じ位尊敬される。道徳教育、倫理教育をしない国は将来必ず滅びる。

■点鐘：町田会長